

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

## 2019年9月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

### NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

### 第607号

九月二〇日(金)より第九回ラグビー・ワールドカップが日本で開催されています。我が国を含めて世界二〇ヶ国が出場し、各地でグループリーグが行われ、その後には決勝トーナメントに入ります。開幕戦は日本対ロシアで、決勝戦は一月二日(土)に行われる予定です。

国内では今一つ人気のないラグビーですが、前回の第八回大会(二〇一五年、イングラランドにて開催)で、日本が当時世界三位であった南アフリカに勝利するという大金星を上げたため、この国でのラグビーの認知度は一気にアップ。五郎丸歩選手がキックの際に行うルーティンポーズなども話題になりました。

今大会でさらなる飛躍が期待されており、決勝トーナメント進出(ベスト8)を多くのファンが願っています。

一八二三年、イギリスのラ

グビー校にて、フットボールのプレー中に一人の少年がボールを抱えてゴールまで走ったことから、ラグビーは出発したと言われます。

この生徒の名前はエリス少年(ウィリアム・ウェップ・エリス)、この伝説を重んじてラグビーのワールドカップ優勝杯はエリス杯と名づけら

## あのエリス少年は後に牧師!?



関東運営委員

古賀 博

学に進学して、後に牧師となったと記されており、大いにびっくり。

同時に何だかうれしくなりました。と言いますのも、小学一年時からずっと観戦を続けてきて、個人的には、ラグビーというスポーツは随分とキリスト教的だなと感じさせられてきたからです。

れにボジション名があり(左右で区別しているものもあり)、かなりの多様性があります。体重の違い、身長の高

低、パスの素早さ、足の速さ、キックの距離等々、ボジションごとに必要とされる特性が異なっているのです。そんな多様な選手たちが一つのチームを形成するところに、私はパウロの教会論(キリストのからだとしての教会)を見る思いがしています。

ラグビーの基本精神を表している "One for all, All for one" の言葉も実にキリスト教的です。通常「一人は皆のために、皆は一人のために」と訳されますが、これは前述の教会論(1コリント12章)を彷彿とせますし、他の訳「一人は皆のために、皆は一つの目的のために」からはエフェソ書の「一つ」とのメッセージが響いてきます。

ラグビーを一度も観たことがないという方、この機会にぜひテレビでも観戦してください。きっと信仰を深める何かを発見できることでしょう(ほんとかかな)。

(日本基督教団早稲田教会牧師)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

関東活動センター

●2019年度 関東フォーラム 宗教対話Ⅰ  
「日本キリスト教史を読む」Ⅲ(昭和篇全7回)

講師：日本基督教団 千代田教会牧師 戒能 信生さん  
2019年5月9日(木)～12月12日(木)  
会場 早稲田奉仕園セミナーハウス

「日本キリスト教史を読む」の学び

濱田美也子

3年前に、「日本キリスト教史を読む」の案内をいただきました。明治期のキリスト教の指導者の学びでした。植村正久、新島襄、内村鑑三な



ど取り上げられた7名の方々は、すべて名前だけは知っていたのです。でもこの方々が、明治という日本キリスト教の黎明期にどのようにキリスト教に触れ、何を考え、どのような決意で指導者としての歩みを始めて行ったのか、全く知らないということに気づきました。

神学校で習ったのか、忘れてしまったのか、記憶がないのです。戒能先生に伺ったところ、こういう分野を教える人がほとんどいないので、神学校の講座にはなかったのでしょうかとのことでした。

月一回の講義が楽しみで、す。いわゆる出来事と歴史の時間的な考察ではなくて、毎回一人の人物を取り上げ、青年期のキリスト教との出会いと学び、指導者としての歩み、困難、晩年を語ってください

ので、この時代にはこんな苦労があったのだと感じつつ、聞いています。そして同時に人間的な弱さをも語ってくださいるので、立派な指導者という語り口だけではなくて、彼らの人としての苦悩をも垣間見ることが出来ます。

教会での混乱、教会員との軋轢、家庭での問題、社会との対立、どれも人間としての苦しみを抱えながら福音宣教のために、そして同時代の国家や政治的困難を見つめつつ戦った人々の姿に深い敬意を覚えつつ毎回帰途についています。

回を追うごとに参加者が増え、しばしば教室を替え、席の確保に苦心するのも、楽しい一日です。今年度は第3期昭和編を学んでいます。明治、大正、昭和と続いてきて、次年度は平成編になるのでしょうかと楽しみつつ通っています。

(日本基督教団豊島岡教会) 「日本キリスト教史を読む」を受講して

徳久 俊彦

私は満90歳を迎えました。が、老骨に鞭打つて、戒能先

生のキリスト教史講座を受講しています。それは大学や研究機関等で研究一筋に打ち込んでおられる先生方と違い、現役の牧師でありながら、アカデミー関東活動センターの責任を背負っておられる戒能先生が、その現場に根ざした問題意識に立って、日本のキリスト教史を調べておられるからです。

戒能先生のこの連続講座は、各時代代表の代表的人物を7～8人選んで歴史を辿るもので、明治・大正期と進んで、今年度は昭和期に入り、由木康、赤岩栄、木俣敏、が終わり、鈴木正久、北森嘉蔵、井上良雄、隅谷三喜男、を残すのみとなりました。私にとっては

関西セミナーハウス活動センター

●2019年度 修学院フォーラム「福祉」第1回  
「映画上映『さとにきたらええやん』とはなしあい  
こども・若者の「居場所」って何?」

講師 認定NPO法人 こどもの里理事長 荘保 共子さん  
2019年6月29日(土)  
共催 (公財) 京都YWCA  
会場 日本基督教団室町教会

こども・若者を応援する大人がもつべき、人権の視点

支援とは何か?を考える目的で、荘保共子さんに講師をお

学生YMCA時代から指導頂いた、北森、隅谷、両先生の部が取り分け楽しみです。

戒能先生の講義は周到な調査に基づいてそれぞれの人物の「生涯」とその「信仰」「業績」、さらには参考文献に至るまでの資料を用意されてなされるのですが、時にはその出生地にまで赴く等、実に丹念に準備されたもので、資料自体が貴重な文献となっております。また先生のお話は、時に、現実の教会の在り方や問題にも触れられ「歴史を訊ねることは、今を考えることだ」という想いを刺激して下さるので、身体を大事にして受講したいと願っています。

(日本基督教団早稲田教会)



願いした。「こどもの里」は、釜ヶ崎で1977年設立以来、児童館に始まり、現在は短期宿泊・長期養育、親の休息・相談の機能も備えて子どもを見守り続けている。釜ヶ崎という特有の地域性があるものの、地域の中で、困りごとを抱えている子ども・若者に寄り添い、声を聴いてこられた実践は先駆的で、学ぶものは多かった。「こどもの里」のドキュメント映画「ざとにきたらええやん」(監督 重江良樹、2015年)上映も組み込んだプログラムとして、具体的な「かかわり」の現場を実感できるように考えた。



日本とイスラエルの軍事技術協力や米国外務館のエルサレム移転など、パレスチナの人々の権利の回復を遠ざける動きが進んでいる。セミナーでは現地での取材や世界各地のNGO・メディアの情報等

●2019年度「開発教育セミナー」第2回  
 「パレスチナ問題はなぜ解決しないのか?」  
 ～その始まりとこれからを考える～  
 パレスチナの平和を考える会 役重 善洋さん  
 2019年7月20日(土)～21日(日)



倒されつつも、自分たちの日常の中で、こども・若者と関わる「居場所づくり」の現場に生かしていくヒントが得られた。国際子ども権利条約30周年のいま、こどもたちの主体的に生きる権利を奪わない社会をつくる責務が、私たち大人に課せられていることを再認識することとなった。

の分析をもとに、パレスチナ問題の歴史的背景と現状、解決に向けての取り組み・課題が提起された。  
 第1セッションでは、地図を用いて紀元前からの歴史をたどることから始め、パレスチナと周辺地域は大規模な人々の移動が繰り返された流動性と多様性が高い地域だと気づき、パレスチナ問題を重層的にとらえることができ

第3セッションでは、関係国の政治的利害や市民の無関心が状況を深刻なものにしている中で、自分たちにできることを考え、彼女たちと連帯していきたいという思いが参加者の中に浸透していった。講師の活動と研究に裏付けられた話により、メディアが報道しない現状を詳細に知



り、理解することができた。

第2セッションでは「ガザ

二〇一九年度  
 関西セミナーハウス  
 もみじまつり  
 十一月二十三日(土・祝)

**賛助会費・寄付金報告(1)**  
 (順不同・敬称略)

◆関東活動センター  
 賛助会費 2019年6月1日～8月31日

神谷 伊勢男	5,000
齊藤 潤	5,000
竹中 百合子	5,000
吉田 博	5,000
大橋 祐治	5,000
島田 治夫	2,500
高橋 真軌	5,000
只野 哲	5,000
武藤 陽一	5,000
山根 誠之	5,000
河原田 美哉子	5,000
古賀 博	5,000
池内 友子	5,000
千葉 拓司	5,000

次頁に続きます。

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**2019年度聖書を読む講座**

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう  
—この時代の中で、聖書からのメッセージを読み解く—」

第1期「イエスの教えと生きざま  
～福音書から」

講師：上林 順一郎さん

日時：②10月23日(水)、③11月27日(水)14:00～16:00(全5回)

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費：1,000円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

新しい聖書の学び「マルコ福音書を  
じっくりと読む」(第2期)(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター  
共同ディレクター)

日時：⑥10月8日(火)、⑦11月12日(火)18:30～20:00

会場：早稲田奉仕園スコットホール222

参加費：1,200円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**2019年度関東フォーラム 宗教対話I**  
「日本キリスト教史を読む」Ⅲ(昭和篇全7回)

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

第6回「バルトの翻訳と平和運動  
を担った井上良雄」

日時：11月14日(木)14:00～16:00

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費：1回500円

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>  
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>  
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 **日本クリスチャン・アカデミー**  
 代表理事 中村 信博

本部事務局  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 TEL 075-711-2147  
 FAX 075-701-5256

関東活動センター  
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館1F  
 TEL 03-3207-6198  
 E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス  
 TEL 075-711-2115  
 E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター  
 TEL 075-711-2117  
 E-mail:office@academy-kansai.org

オブショナル・ツアー③

「大正・昭和期に創立された教会を訪ねる—東中野教会・カトリック麹町聖イグナチオ教会」

集合：10月24日(木)10:30  
 東中野教会1階ロビー

ナビゲーター：戒能 信生さん

参加費：1,000円

■**2019年度関東フォーラム 宗教対話V**  
 第5回 柏木義円公開講演会(共催)  
 「柏木義円とその家」

講師：市川 浩史さん(群馬県立女子大学文学部教授)

日時：11月9日(木)14:00～16:30

会場：日本キリスト教会館1階

参加費：1,000円/学生500円

主催：柏木義円研究会

■**2019年度研究会**  
 「さらに豊かな礼拝のために～言葉を届けるトレーニング」(全10回)

講師：友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時：⑤10月15日(火)、⑥11月19日(火)18:00～20:00

会場：日本基督教団巣鴨ときわ教会

参加費：1回1,200円

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日時：2019年10月13日、11月10日  
 日曜9:00～15:00 受付

於：関西セミナーハウス

年会費：4,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2019年度お茶のこころと宗教のこころ**  
 「聖書をいっしょに読みましょう」

座長：榎本 栄次さん(日本基督教団牧師)

日時：⑥10月7日(月)、⑦11月11日(月)

13:30～16:30(全8回)

会場：関西セミナーハウス

参加費：1,500円 学生500円

(抹茶含む)

■**2019年度修学院フォーラム「いのち」**  
 第2回「ゲノム編集の光と影」

講師：中山 潤一さん(基礎生物学研究所 クロマチン制御研究部門教授)

土井 健司さん(関西学院大学神学部教授)

日時：10月12日(土)13:00～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,300円 学生1,000円

(コーヒー付)

■**2019年度開発教育セミナー**

第4回「忘却を乗り越える～足尾鉍毒問題とフクシマ」

講師：菅井 益郎さん(渡良瀬川研究会代表)

日時：10月26日(土)16:00～27日(日)12:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：10,500円(1泊2食込)、  
 京都市宿泊税200円別

**賛助会費・寄付金報告(2)**

2019年7月1日～8月31日(順不同・敬称略)

◆**関東活動センター**  
**寄付金**

神保 正男 10,000

神学生プログラム寄付金

松井 直樹 5,000  
 千葉 拓司 5,000

◆**関西セミナーハウス**  
**寄付金**

神崎 清一 10,000  
 神保 正男 10,000  
 中村泰洋園 中村 英明 10,000

株式会社京都スタッフ 10,000  
 ワケンホールディングス株式会社 50,000

株式会社祇園辻利 10,000  
 株式会社柴橋商会京都支店 10,000

京都音楽教育の会 30,000  
 武藤 高司 10,000  
 柴田 賢司 10,000

土田商店 5,000  
 田中 克郎 300,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**  
**賛助会費**

島田 誠一 5,000  
 浅野 献一 5,000

友前 尚子 5,000  
 丸山 まり子 5,000

北風 照子 5,000  
 桜井 希 5,000

網野 俊賢 5,000  
 関西青年アシユラム 10,000

菅 恒敏 5,000  
 高寺 幸子 5,000

徳丸 延子 10,000  
 岡野 潤治 5,000

田中 彩子 5,000  
 都木 かおり 3,000

**寄付金**

山崎 和明 26,680  
 武山 泰子 10,000

璋子 5,000  
 榎本 栄次 3,960  
 島田 恒 5,000

日本基督教団西が丘教会 4,200  
 桃山アシユラム 5,000

日本基督教団長岡京教会 10,000  
 網野 俊賢 10,000

奥田 豊 100,000  
 柳井 一朗 2,300

以上、感謝をもってご報告申し上げます。